

令和6年度 第8回

洞爺湖町教育行政審議会議案

日 時 令和6年11月14日(木) 13:30~  
会 場 洞爺湖町役場3階 第2委員会室

## <会議次第>

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議事

- (1) ワークショップで取り上げられた社会教育に関連する内容について
- (2) 洞爺湖町の社会教育施設の現状と課題について

### 4 その他

### 5 閉会

第8回洞爺湖町教育行政審議会資料

# 社会教育施設の現状と課題

令和6年11月14日（木）

社会教育課

# 1. 社会教育施設について

## (1) 社会教育施設の概念

社会教育施設とは、「社会教育の奨励に必要な施設（社会教育法第3条）」であって、社会教育活動において利用される施設、あるいは社会教育行政が所管する施設を指します。

狭義：社会教育行政の所管の下、社会教育活動において利用される施設

→具体的には、公民館、図書館、博物館、青少年教育施設、女性教育施設、生涯学習センターなど

広義：狭義の社会教育施設に加え、社会教育関係施設、社会教育関連施設など、社会教育行政は所管していないが、社会教育に関わる活動が行われている施設も加える

→具体的には、狭義の社会教育施設に加えて、博物館類似施設や社会体育施設、民間体育施設、文化会館、保健所や児童館などの行政が管理する施設、カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間施設まで

## (2) 社会教育施設の役割

公民館 社会教育の推進の中核をなすものであり、人がつどい、むすび、まなぶ場として、これまで、青少年教育、成人教育、女性教育などの地域の教育の中心としての役割を担い、社会教育関係団体の活動の場や地域コミュニティの中心となってきた。

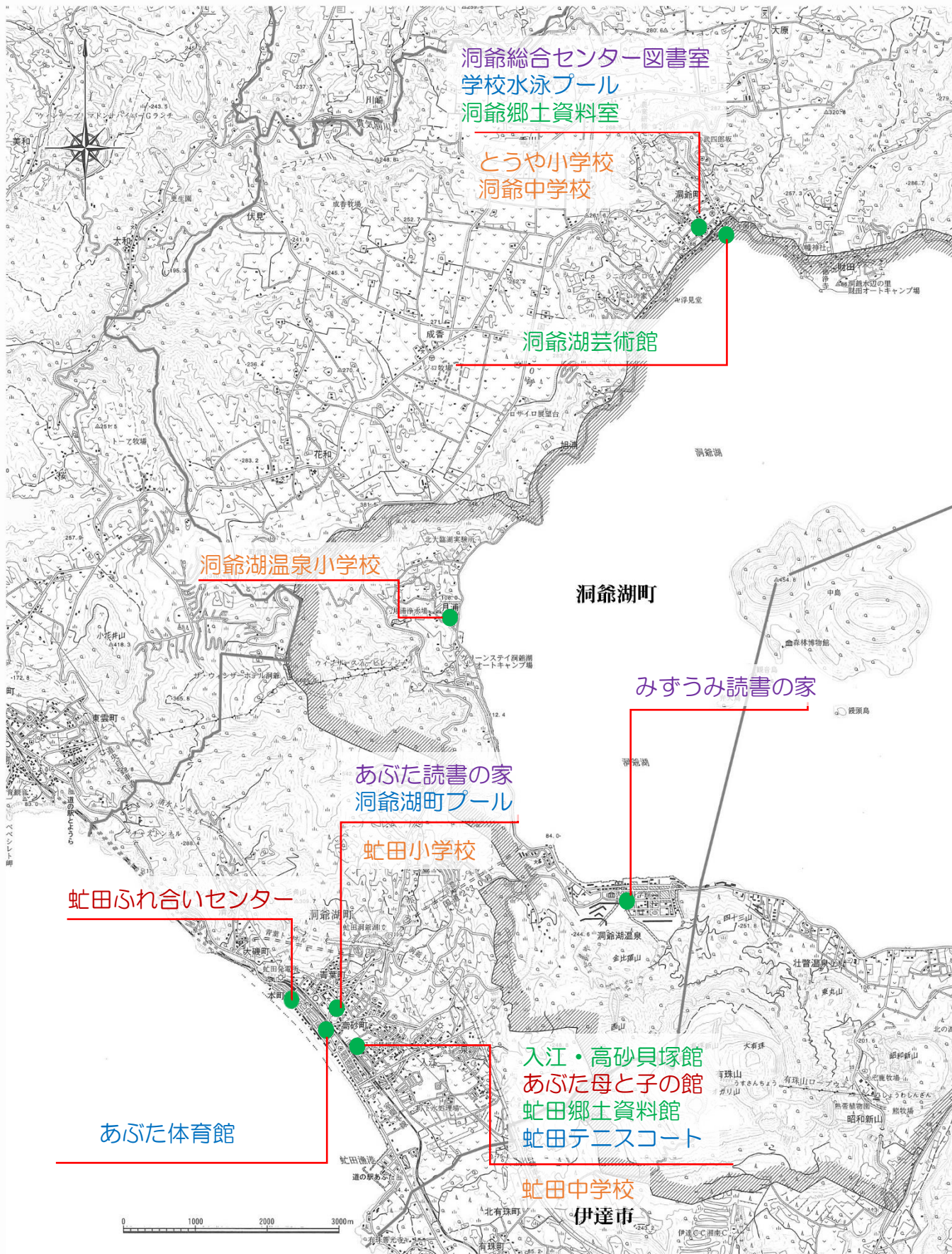
図書館 図書の貸し出し、閲覧、資料の収集などの他、読書会、研究会の開催や地域住民の学習成果を活用して行う教育活動の場として位置づけられているとともに、学校教育への支援や家庭教育の向上に資するもの。

博物館 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集・保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」で、法の規定により「登録を受けたもの」と定義されています。その中には、美術館、芸術館、動物園、植物園、郷土資料館などが含まれ、現状の活用方法によって、広く類似した施設も含む。

それぞれにおいて施設の性格は異なるものの、施設に共通した本来の役割は、住民誰もが学びたいときに、歴史や文化・芸術に触れることで、情操や教養を養ったり、スポーツや自然体験をはじめとする体験活動などを通して、健康維持・向上を高める学びの場であるとともに、地域の住民が集える場であるといえます。

## 2. 洞爺湖町の社会教育施設

施設名	分類	建設（設置）年	築年数
母と子の館	社会教育施設	1978（体育館） 1990（児童室）	46 34
あぶた読書の家	社会教育施設	1981	43
みずうみ読書の家	社会教育施設	1978 （旧火山科学館）	46
洞爺総合センター図書 室	社会教育施設	1976	48
虻田ふれ合いセンター	社会教育施設	1984	40
洞爺湖芸術館	町民文化施設	1952 （2008）	72 （16）
入江・高砂貝塚館	町民文化施設	1998	26
虻田郷土資料館	町民文化施設	1994 （2004）	30 （20）
洞爺郷土資料室	町民文化施設	1996 （2017）	28 （7）
あぶた体育館	スポーツ施設	1976	48
虻田テニスコート	スポーツ施設	2002	22
洞爺湖町プール	スポーツ施設	1989	35
学校水泳プール	スポーツ施設	1972	52



# 3. 各種計画での位置づけ

## 1. 第2期洞爺湖町まちづくり総合計画（社会教育関連）

《基本理念》 1 交流・連携による活力づくり

2 安全・健康・環境を重視した健康づくり

3 共同・自立のまちづくり

《将来像》 湖海と火山と緑の大地が結びあい元気をつくる交流のまち

《施策の大綱》 1 定住施策の充実と交流人口の拡大

2 三地域の特性に合った振興策の充実

### ■誇れる地域特性を活かしたまちづくり

火山の恵みである温泉や洞爺湖、縄文遺跡や彫刻群など、この地ならではの地域資源魅力として認識し、楽しみとすることで、まちの活力を産み出します。

◆温泉資源の保全と活用 ◆観光の振興

◆洞爺湖有珠山ジオパークの活用

◆芸術・文化活動の促進と文化遺産の保全・活用

◆自然公園・水辺の整備 ◆大学との連携

### ■人が輝きと賑わい生み出すまちづくり

地域の住民が様々な活動への参加やそれぞれのつながりを大切にし、互いに協力し合うことで、まちへの愛着と賑わいを創出します。

◆男女共同参画社会・人権尊重社会の形成

◆コミュニティ・住民活動の促進

◆協働・自立のまちづくりの推進 ◆青少年の健全育成

◆元気な高齢者の活躍 ◆生涯学習社会の確立

◆スポーツ活動の促進 ◆国際交流・地域間交流活動の展開



## 2. 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョン（社会教育関連）

### ■基本目標7 生涯学習社会の推進

- ◆学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- ◆潤いのある地域づくりを目指した社会教育の推進
- ◆芸術・文化活動の推進
- ◆健康づくり・スポーツ活動の推進

## 3. 第4次洞爺湖町社会教育中期計画

### ■学んだ成果を生かす生涯学習の推進

- ◆家庭教育 ◆ライフステージに応じた学習機会の充実
- ◆自主学習と人づくりの推進

### ■潤いのある地域づくりを目指した社会教育の推進

- ◆読書活動の推進 ◆男女共同参画計画の推進
- ◆地域学校協同活動の推進

### ■芸術・文化活動の推進と文化遺産の保全活用

- ◆文化の振興 ◆文化財の保存・活用の振興
- ◆世界文化遺産の保存と活用

### ■健康づくり・スポーツ活動の推進

※ 施設については、「洞爺湖町公共施設等総合管理計画」との整合性を考慮しながら、老朽化した施設も含め、効果的な利活用の検討を進めることとしている。



## 4. 洞爺湖町公共施設等総合管理計画

### ＜公共施設等の管理に関する基本的な考え方＞

現状や課題に関する基本認識を踏まえ、公共施設マネジメントにおいては、人口構成など地域の特性や住民ニーズを踏まえながら、地域の将来像を見据えた公共施設等の適正な配置等の検討を行っていきます。将来の人口動向や財政状況を踏まえ、新規の公共施設等（建築物）は、供給量を適正化することとし、公共施設等のコンパクト化（統合・廃止、規模縮小等）の推進を検討します。

既存施設については、老朽化の状況や利用実態及び今後の需要見通しを踏まえ、今後とも保持していく必要があると認められた施設については、計画的な修繕・改善による品質の保持に努め、施設の有効活用を検討します。

#### （１）公共施設等（建築物）

##### ■供給に関する方針

##### ○機能の複合化等による効率的な施設配置

- ・老朽化が著しいが、町民サービスを行ううえで廃止できない施設については、周辺施設の立地状況を踏まえながら、機能の複合化や更新等により、効率的な施設配置及び町民ニーズの変化への対応を図ります。

##### ○施設総量の適正化

- ・町民ニーズや上位・関連計画、政策との整合性、費用対効果を踏まえながら、人口減少や厳しい財政状況を勘案し、必要なサービス水準を確保しつつ施設総量の適正化（縮減）を図ります。

##### ■品質に関する方針

##### ○予防保全の推進

- ・日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めます。

##### ○計画的な長寿命化の推進

- ・建築後長期間経過した施設については、大規模改修の検討と併せ「洞爺湖町建築物耐震改修促進計画」に基づく耐震化を推進するとともに、長期的な修繕計画の策定や点検等の強化などにより、計画的な維持管理を推進し、必要に応じて施設の長寿命化を図ります。

##### ■財務に関する方針

##### ○長期的費用の縮減と平準化

- ・改修・更新等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、歳出予算の縮減と平準化を図ります。

##### ○維持管理費用の適正化

- ・現状の維持管理にかかる費用や業務内容を分析し、維持管理費用や施設使用料等の適正化を図ります。

## （２） 統合や廃止の推進方針

施設の整備状況、利用状況、運営状況、費用の状況等を踏まえ、必要に応じて公共施設等の統合・廃止や規模縮小等を検討します。検討にあたっては、施設の現状を評価するために必要な各種施設毎の費用の比較による費用対効果や機能の水準、目的への適合性等の指標を用いて、「継続使用」、「改善使用」、「用途廃止」、「施設廃止」等の方向付けを行います。

さらに、その方向付けを踏まえ、施設特性を考慮した町全体を対象とするサービス（機能）に対応する施設及び地区を対象とするサービス（機能）に対応する施設の維持・効率化等の検討を推進していきます。

### ○建築物系施設

- （ア）町が保有する建築物系施設は、４割程度が建築後 30 年を経過している状況となっており、施設の劣化状況・安全性、利用状況、維持管理経費の状況、類似施設の配置状況、財政状況、社会環境や町民ニーズの変化等を総合的に勘案し、計画的に施設の集約化や老朽施設の廃止を推進することで、施設の総量適正化を図ります。
- （イ）新規の施設整備については、単独施設の新規整備は行わず、施設の複合化・集約化、廃止・統廃合を基本とします。
- （ウ）建設から一定期間を経過した施設は適宜点検・診断を実施し、建設から 30 年を超えるものは、利用率、効果や老朽度合等を総合的に勘案し、地域住民の方々と十分協議して、長期の活用が見込まれない場合は、廃止を基本とします。
- （エ）廃止した施設で、売却・貸付などが見込めない場合は、老朽化による破損等によって周辺的环境・治安に悪影響を与えないよう、取り壊しを基本とします。また、施設の取り壊しに際しては優先順位を付けて順次実施し、事業費等の削減、平準化を図るようにします。
- （オ）今後の財政推計を踏まえたうえで、重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防的修繕を実施することにより、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることでライフサイクルコストを縮減します。

○建築物系施設種別ごとの方針 ※施設の廃止・撤去等は住民合意の上で進めます。

### （３）洞爺湖町公共施設等総合管理計画における社会教育施設の方針

#### ①社会教育施設

施設の予防保全や修繕等の維持管理を行い、施設の延命化を図ります。また、利用率の極めて低い施設については、用途を廃止し、譲渡又は貸付を検討します。さらに耐用年数が経過している施設等については複合施設として統合や解体撤去等を含め検討します。

施設名称	
あぶた読書の家	虻田ふれ合いセンター
母と子の館	洞爺総合センター

#### ②スポーツ施設

予防保全的な修繕を施し長寿命化を図りますが、有効な活用方法を検討し、有力なものについては、実施します。

プールについては、経年劣化が顕著となった際には廃止する予定です。

あぶた体育館については、将来的に類似施設との統合等を検討します。

施設名称	
あぶた体育館	学校水泳プール
洞爺湖町プール	虻田テニスコート

#### ③町民文化施設

施設の予防保全や修繕等の維持管理を行い、施設の延命化を図るとともに、利用が固定化している施設については、他の施設への移転集約を含め、施設の有効活用を図り耐用年数が経過している施設については解体撤去等を含め検討します。

施設名称		
郷土資料館	入江・高砂貝塚館	洞爺湖芸術館

#### ■施設の方向性を複合施設として統合としている施設

施設名称	面積（㎡）	施設名称	面積（㎡）
あぶた体育館	1,517.84	虻田郷土資料館	257.62
あぶた読書の家	315.06	母と子の館	1,263.49
虻田ふれ合いセンター	894.88		

# 4. 近隣市町の状況

市町・人口	社会教育	文化施設	スポーツ施設
登別市 44,451	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年教育施設2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふおれすと鉱山</li> <li>・青少年会館</li> </ul> </li> <li>○図書館1、分館1、移動図書館車 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市図書館</li> <li>・アーニス分館</li> <li>・移動図書館車「こぐま号」</li> </ul> </li> <li>○市民会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館</li> <li>・カントレラ</li> </ul> </li> </ul>	体育館1 プール1 (その他民間1) 運動公園2
室蘭市 76,071	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性教育施設1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等参画センター</li> </ul> </li> <li>○生涯学習センター2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンライフ</li> <li>・きらん</li> </ul> </li> <li>○図書館1、分館3、移動図書館車 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館</li> <li>・本輪西分室・輪西分室・白鳥台分室・自動庫文庫「ひまわり号」</li> </ul> </li> <li>○市民会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館4 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民族資料館</li> <li>・市民美術館</li> <li>・港の文学館</li> <li>・環境科学館</li> </ul> </li> </ul>	体育館2 プール2 アイスアリーナ1 その他（サッカー場など）10
伊達市 32,118	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館1、分室1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館</li> <li>・大滝分室</li> </ul> </li> <li>○だて歴史の杜カルチャーセンター</li> <li>○東地区コミュニティセンターみらい館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・だて歴史文化ミュージアム</li> <li>・開拓記念館</li> </ul> </li> </ul>	体育館1 プール1 武道館1 その他運動施設8
豊浦町 3,568	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館</li> </ul> </li> <li>○図書室1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館図書室</li> </ul> </li> </ul>		体育館1 プール1 屋内運動施設1 テニスコート1
壮瞥町 2,345	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲洞爺公民館(仲洞爺)</li> </ul> </li> <li>○青少年教育施設1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年会館(南久保内)</li> </ul> </li> <li>○図書室1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センター山美湖内</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館横綱北の湖記念館</li> <li>・三松正夫記念館</li> </ul> </li> </ul>	グラウンド1 その他2（スキー場、パークゴルフ場）
洞爺湖町 8,068	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・虻田ふれ合いセンター</li> <li>・洞爺総合センター</li> </ul> </li> <li>○青少年教育施設1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あぶた母と子の館</li> </ul> </li> <li>○図書室3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あぶた読書の家</li> <li>・みずうみ読書の家</li> <li>・洞爺総合センター図書室</li> </ul> </li> </ul>	博物館5 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入江・高砂貝類館</li> <li>・火山科学館</li> <li>・虻田郷土資料館</li> <li>・洞爺湖芸術館</li> <li>・中島、湖の森</li> </ul>	体育館1 プール2

# 5. 今後の方向性

## 1. エリア別の拠点施設（第2期洞爺湖町まちづくり総合計画より）

複合化・集約化を進めるにあたり、各地区に拠点施設を指定する。

### （1）虻田地区

内浦湾に面し、国道37号やJR洞爺駅、スーパー、病院、役場庁舎などの商業施設や生活利便施設を有する地区。世界遺産などの資産や社会教育施設が集中する。町人口の約70%が居住する。

《拠点となる施設》

分類	施設名称
社会教育施設	母と子の館、虻田ふれ合いセンター
町民文化施設	入江・高砂貝塚館
スポーツ施設	あぶた体育館

### （2）洞爺湖温泉・月浦地区

洞爺湖畔に面し、噴火遺構や温泉街を有する地区。町人口に占める割合は約12%。町民が利用するほかに、観光客の利用も考慮する（学校施設を除く）。

サミット記念館には郷土資料の展示も検討する。

《拠点となる施設》

分類	施設名称
社会教育施設	（洞爺湖文化センター）
町民文化施設	（サミット記念館）
スポーツ施設	洞爺湖温泉小学校体育館

### （3）洞爺地区

広大な畑や水田が広がり、渚と芸術文化が融合した地区。町人口に占める割合は約18%。

《拠点となる施設》

分類	施設名称
社会教育施設	洞爺総合センター
町民文化施設	洞爺湖芸術館
スポーツ施設	洞爺中学校体育館

## 2. 社会教育施設のあり方

### (1) 社会教育施設

施設名	選択肢として考えられる案
母と子の館	体育館はあぶた体育館と統合。 学びや遊びの場としての機能は虻田ふれ合いセンターに統合する。
虻田ふれ合いセンター	公民館機能の拠点として長寿命化を図る。
あぶた読書の家	公共施設に移転を検討。統合後の本町保育所、もしくはサミット記念館の空きスペースを利用
みずうみ読書の家	将来的に1カ所に統合
洞爺総合センター図書室	将来的に1カ所に統合

### (2) 町民文化施設

施設名	選択肢として考えられる案
入江・高砂貝塚館	世界遺産の発信の拠点として長寿命化を図る
虻田郷土資料館	複合施設に統合。サミット記念館に一部展示 資料が膨大のため収蔵庫が必要
洞爺郷土資料室	
洞爺湖芸術館	芸術文化の発信の拠点として維持する。

### (3) スポーツ施設

施設名	選択肢として考えられる案
あぶた体育館	長寿命化を図る。将来的には母と子の館体育館と統合する。
虻田テニスコート	当面の間維持する
洞爺湖町プール	経年劣化が顕著となった場合は廃止 代替えとして近隣自治体の施設もしくは民間施設を活用
学校水泳プール	経年劣化が顕著であるため廃止。代替えとして洞爺湖町プールを活用。